

# お天気解説

## アキラのズバッと

### 木材が乾き、風が吹くと火災リスクが…↑

令和8年2月6日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聰

2月に入り1週間。立春を過ぎてから暖かさを感じるこの頃ですが、1月に入って4週間分の降水量は東京都心では7.5ミリ、そして、都内他のアメダス観測点でも0~5ミリです。江戸川臨海でも前々号から変わっていません。降水量の著しく少ない傾向は太平洋側の各地でも続いており(図1)、この影響が心配されます。

昨年からの降水量の少なさが、野菜の収穫にも影響しているようです。大根やキャベツなどの野菜は雨が少ないため、生育が進まず小さいものも多いそうです。

東京都心における、木材の湿り気具合を示す「実効湿度」について昨年同期と比較してみました(図2)。昨年の1月下旬は50%を超えていましたが、今年は30%台が続いており、林野



図2 東京都心の実効湿度(2025・26年1月)

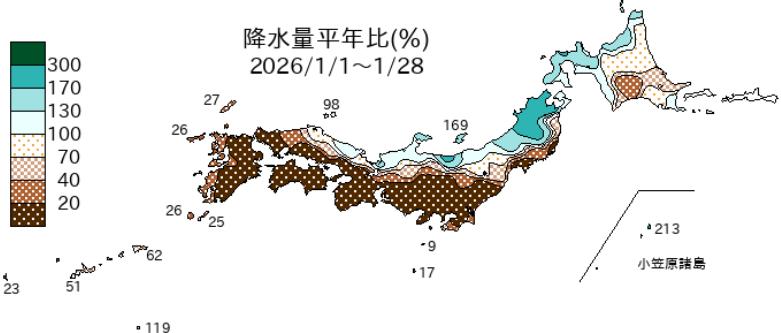


図1 降水量の平年比(2026年1月1~28日) 気象庁HPより

火災と同様、木造家屋は火災が起りやすい状態が続いているいます。江戸時代に起きた大規模な火災(江戸三大大火)は1~4月に発生しましたが、空気が乾燥しているところに、風が強く吹いて火災が大きくなつたようです。春先は、南岸低気圧ならまとまつた雨や雪になりますが、日本海低気圧なら春一番などの強風になるので注意が必要です。

| 2026年02月06日11時 気象庁 発表 |              |              |               |
|-----------------------|--------------|--------------|---------------|
| 日付                    | 今日<br>06日(金) | 明日<br>07日(土) | 明後日<br>08日(日) |
| 東京地方                  | 晴時々曇<br>     | 曇<br>        | 曇一時雪<br>      |
| 降水確率(%)               | -/-/0/0      | 10/20/30/20  | 50            |
| 信頼度                   | -            | -            | -             |
| 東京<br>気温<br>(°C)      | 最高<br>16     | 8            | 6<br>(4~7)    |
|                       | 最低<br>-      | 3            | 0<br>(-2~2)   |

#### 東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

週末は天気がくずれ気温が下がりそうです。雪が降り、足元滑りやすくなるかもしれないでのご注意ください。クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。